

# 研究員の眼

## 新NISAのスタートダッシュの反動も ～2024年2月の投信動向～

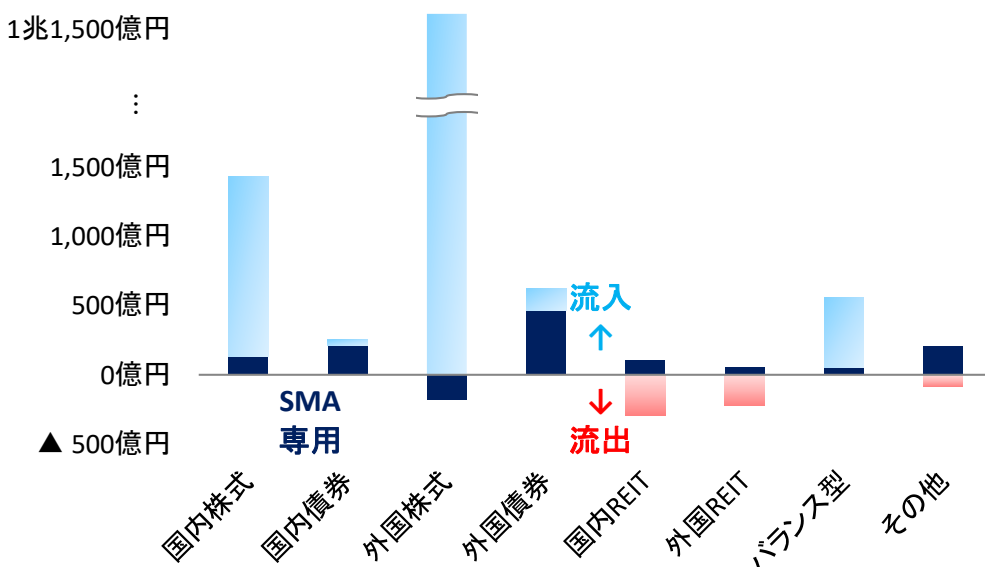
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮  
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

### 1月からさらに資金流入が増加!!

2024年2月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、2月はファンド全体に1兆4,100億円の資金流入があった。1月の1兆3,000億円からさらに1,100億円増えた。SMA専用ファンドへの流入額が1,000億円と1月の800億円から増えたこともあるが、一般販売されているファンドの販売も1月以上に好調であった様子である。

2月も外国株式ファンドに1兆1,400億円の資金流入があり、ファンド全体への純流入の8割が外国株式ファンドであった。外国株式ファンド全体でみるとSMA専用ファンドから資金流出していたため流入額が1月より若干減少したが、一般販売されているものに限ると1月から300億円と少額であるが資金流入が増加した。

【図表1】2024年2月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

## インデックス型の外国株式ファンドの一部で1月の反動が

ただし、一般販売されている外国株式ファンドをタイプ別にみると、インデックス型には2月も8,800億円と大規模な資金流入があったが、1月の9,600億円から800億円減少した。そもそも1月は新NISAの成長投資枠の年間240万円を一括で利用した人が数多くいたと思われ、インデックス型の外国株式ファンドなどの販売が膨らんでいた可能性があった。そのため2月はインデックス型の外国株式ファンドの販売が鈍化したというより、1月に成長投資枠の一括利用などによって膨らんでいた分が落ちただけといえそうである。

個別にみると2月も1月と同様に「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」(1位)に2,300億円、「eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)」(2位)に1,800億円と資金流入が集中していた【図表2】。引き続き非常に売れていたといえるが1月の3,400億円、2,100億円と比べると、それぞれ1,100億円、300億円減少した。特に「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」が1月に売れに売れていた分、2月はその反動で減少も大きかった様子である。

この上位2本以外にも資金流入が1月から細ったインデックス型の外国株式ファンドがあった。それでも上位2本の1月からの減少額が1,400億円とインデックス型の外国株式ファンド全体の減少額800億円を大きく上回っている。しかし、インデックス型の外国株式ファンドへの資金流入が1月から減少したとはいえ、2月の8,800億円という流入額自体は、2023年までと比べると2倍以上の金額であった。そのためインデックス型の外国株式ファンドは1月に売れ過ぎた一部で2月にその反動があったが、引き続き販売は堅調であったと言える。

## 米ハイテク株投資が盛んに

アクティブ型の外国株式ファンドは2月に2,800億円の資金流入と1月の1,800億円から増加した。アクティブ型の場合は2月も販売を牽引していたファンド2本(【図表2】太字:3位、4位)が新NISAで買付不可であったことから分かるように、そもそも新NISAの影響がインデックス型と比べて小さかったことが考えられる。その上で2月はハイテク系のテーマ型やハイテク系の銘柄の組入が多いと思われる米国成長株式のアクティブ型ファンドが売れた。

なお、インデックス型の外国株式ファンドでも主に米ハイテク株式で構成されている指数に連動しているものに限ると「iFreeNEXT FANG+インデックス」(7位)を中心に2月に1,000億円の資金流入と1月の900億円から増加した。このようにインデックス型でもハイテク系の販売は好調であった。

【図表2】2024年2月の推計純流入ランキング

ファンド名	運用会社	1月の 流出入	2月の推計 純流入	純資産 2月末時点
1位 eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	3,429 億円	2,286 億円	26,248 億円
2位 eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	2,079 億円	1,816 億円	37,975 億円
3位 <b>アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示</b>	アライアンス・バーンスタイン	449 億円	638 億円	25,642 億円
4位 <b>インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)</b>	インベスコ・アセット・マネジメント	514 億円	507 億円	12,119 億円
5位 <b>半導体関連 世界株式戦略ファンド</b>	三井住友トラスト・アセットマネジメント	95 億円	461 億円	1,671 億円
6位 楽天・S&P500インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	397 億円	389 億円	994 億円
7位 iFreeNEXT FANG+インデックス	大和アセットマネジメント	271 億円	388 億円	1,278 億円
8位 <b>野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)</b>	野村アセットマネジメント	247 億円	313 億円	2,248 億円
9位 HSBC インド・インフラ株式オープン	HSBC アセットマネジメント	205 億円	305 億円	1,250 億円
10位 <b>アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)</b>	アライアンス・バーンスタイン	278 億円	296 億円	11,247 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

米ハイテク株が中心のNASDAQ総合指数が 2023 年は 43%も上昇し、2024 年に入っても年初来で既に 7%上昇するなど、米ハイテク株の上昇が顕著であったこともあり、注目する個人投資家が多いようだ。ただし、米ハイテク株については足元、過熱感も指摘されているだけに、株価上昇の後追いで結果的に高値掴みになる可能性もあるかもしれない。

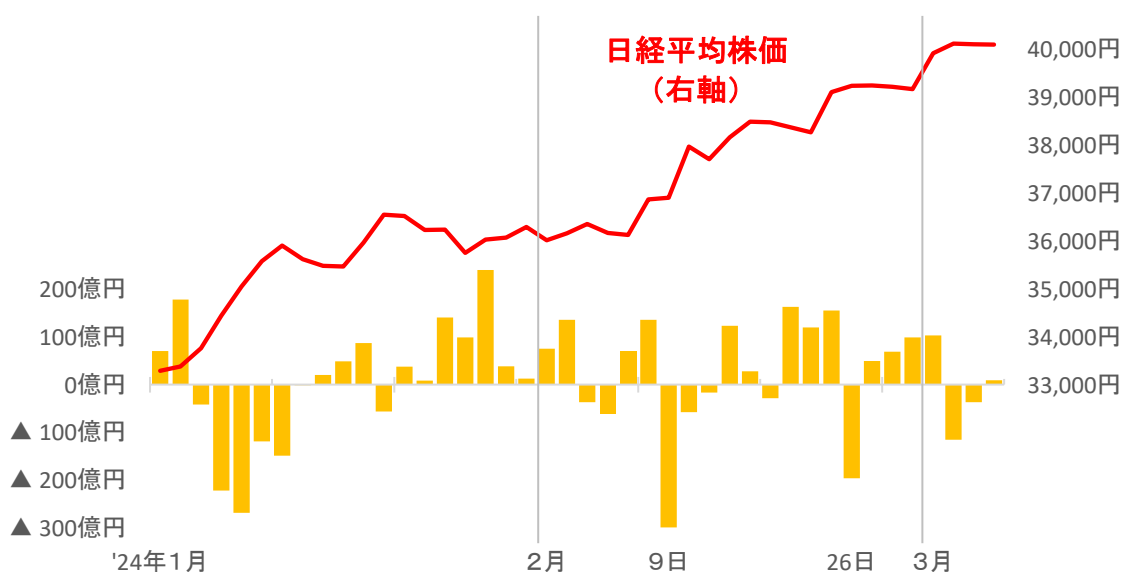
### 国内株式も新NISAの影響？

また、国内株式ファンドにも 2月に 1,400 億円の資金流入があり、1月の 1,300 億円から若干増加した。一般販売されている国内株式ファンドをタイプ別にみるとアクティブ型の資金流入が減る一方でインデックス型が増え、偶然かもしれないが外国株式ファンドと逆の傾向になった。

一般販売されているアクティブ型の国内株式ファンドには 800 億円の資金流入があったが、1月の 1,000 億円から 200 億円減少した。アクティブ型の国内株式ファンドもインデックス型の外国株式ファンドと同様に1月が成長投資枠の一括利用などによって膨らんでいた可能性がある。ただ、アクティブ型の国内株式ファンドは1月からの減少が小幅だったこともあり、1月に人気を集めてファンドが2月に販売停止の影響など、その他の要因によるところが大きかったと考えられる。2月も株価上昇が大きかっただけに利益確定売りが膨らんだ可能性もあるだろう。

その一方で、一般販売されているインデックス型の国内株式ファンドには 500 億円の資金流入と流入額こそ小さいが1月の 100 億円から 400 億円増えた。日次で資金流入を詳しくみると、2月は9日に 300 億円、22日には 200 億円の純流出と日経平均株価が大きく上昇した翌営業日は売却超過になっていた【図表3】。それでも日経平均株価が高値で推移する中、20日、21日、22日と3営業日連続で 100 億円の資金流入があるなど買いも旺盛だった。新NISAや足元の株価上昇などの影響からなのか、やはり 2024 年に入ってからインデックス型の国内株式ファンドの買付が地味に増えている可能性が高そうである。

【図表3】インデックス型の国内株式ファンドの資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2月以降は推計値。

その他に2月は外国債券ファンドや国内債券ファンドへの資金流入も増加したが、内外債券ファンドの資金流入についてはほぼSMA専用ファンドによるものであった。また、国内REITファンドと外国REITファンドは流出額こそ1月からやや減少したが引き続き資金流出であった。

### テーマ型の株式ファンドの一部が特に好パフォーマンス

2月は世界的に株式が上昇する中でテーマ型の内外株式ファンドの一部のものが特に好調だった【図表4】。特に足元、人気を集めている「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」(【図表2】8位、【図表4】7位)は過去1年間の収益率が100%を超えており、過去1年でみても最もパフォーマンスが良かった。

【図表4】2024年2月の高パフォーマンス・ランキング

	ファンド名	運用会社	2月の収益率	過去1年収益率	純資産 2月末時点
1位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド	インベスコ・アセット・マネジメント	24.0%	65.8%	171 億円
2位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)	インベスコ・アセット・マネジメント	24.0%	65.3%	71 億円
3位	eMAXIS Neo 遺伝子工学	三菱UFJアセットマネジメント	20.6%	22.1%	23 億円
4位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	15.6%	77.2%	1917 億円
5位	DCトヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	15.6%	77.4%	135 億円
6位	アムンディ・ロシア東欧株ファンド	アムンディ・ジャパン	15.5%	60.9%	24 億円
7位	<b>野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)</b>	野村アセットマネジメント	14.4%	102.2%	2248 億円
8位	ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン	ドイチェ・アセット・マネジメント	13.2%	32.0%	16 億円
9位	深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)	日興アセットマネジメント	13.2%	-21.0%	204 億円
10位	グローイング・エンジェル	ドイチェ・アセット・マネジメント	13.1%	31.3%	18 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2024年2月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したものです。その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。